

名古屋市生徒会サミット 2015 実施報告書



■日時：2015年9月19日（土）10:00 開始 17:20 終了

■場所：イーブルなごや 2階 視聴覚室

〒460-0015 名古屋市中区大井町7番25号

名古屋市生徒会サミット 2015

■主 催 NPO 教育支援協会東海

■共 催 名古屋市教育委員会

■後 援 名古屋市立小中学校長会

■協 賛 (敬称略)

- ・株式会社 オーシャングローバルネットワーク
- ・株式会社 カムロ
- ・株式会社 キョーイク
- ・社会福祉法人 フィロス
- ・株式会社 星煌学院
- ・株式会社 トラベルクラフト
- ・ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
- ・AUAU 建築研究所
- ・株式会社 SWIFT JAPAN
- ・株式会社 MK サポート

■参加校 16校 70名 (順不同)

大曾根中学校 守山中学校 守山東中学校 志段味中学校 高針台中学校

八王子中学校 山王中学校 山田東中学校 田光中学校 助光中学校

東星中学校 上社中学校 東港中学校 志賀中学校 萩山中学校 御田中学校

※当初は17校の参加予定でしたが、当日体調不良で欠席された中学校が1校あり、16校の参加となりました。

■ファシリテーター

・大学生ファシリテーター

学生団体 STUNITY

山縣 広晃 (東京都)

学生団体 STUNITY

藤塚 一起 (東京都)

教育支援協会神奈川

秋山浩器 (横浜市)

・中学生ファシリテーター

守山東中学校

本間結衣

山田泰暉

三田章乃

守山中学校

岡田磨奈

辻さくら

西尾太一

山田東中学校

野口紗依

福谷聡太

八王子中学校

新田海斗

田光中学校

原悠貴

助光中学校

鈴木あいか

岡村美吹

■ディレクション

教育支援協会東海専務理事

西尾真由美

■趣旨

名古屋市の中学生の次世代リーダー達が一堂に集い、課題解決に向けたアクションを創り出していく。本サミットを通じて、ゼロからイノベーションできるリーダー育成へと繋げる。

■内容

大テーマを「生徒会として行える地域貢献」とし、熟議を行う。

名古屋市から集まる中学生リーダー達が、テーマに対して行動を起こせる協働チームとして、ふるさと名古屋の未来を考え、「地元を盛り上げるアクションプラン」(活動計画)を作成する。

サミット終了後、できる限りアクションプランを実践へ繋げ、次世代リーダー達の挑戦を発信していく。

■日程

時間	内容
9:30	<u>受付開始</u>
10:00	<u>オープニングセレモニー</u> ・映像「STAND UP」 ・主催者あいさつ 教育支援協会東海代表 本多功 ・アイスブレイク
10:40	<u>熟議1部開始</u> テーマ「地元を盛り上げるアクションプランを考えよう」 (取り組んでみたいプランを話し合い、まとめる。)
12:00	昼食休憩
12:50	<u>1部の発表</u> 熟議1部で考えたアクションプランを全体にプレゼンする。
13:30	<u>熟議2部開始</u> テーマ「アクションプランを練り上げよう」 (グループ毎で再度アクションプランを練り上げる)
15:20	<u>2部の発表</u> テーマ「名古屋市の中学生生徒会が協働してできる地元もりあげアクションプラン決定」 (熟議2部で練り上げたアクションプランを発表。 ⇒投票により、協働アクションプランを1つ決める。)
16:50	<u>エンディングセレモニー</u> ・講評 京都造形芸術大学教授 寺脇研氏 名古屋市議会議員議長 藤沢ただまさ氏 ・集合写真 ・事後アンケート
17:20	<u>終了</u>

10:00 開始

オープニングセレモニー

■映像「STAND UP」紹介



■教育支援協会東海 代表理事 本多功 挨拶

「名古屋の未来に貢献できるリーダーを、私達は本気で育てたいと思っています。」

■ファシリテーター紹介

熟議を進行する大学生ファシリテーターが関東から来てくれました。前日に行ったファシリテーター研修会も企画・進行してくれました。



■アイスブレイク

はじめて会う仲間とコミュニケーションを図ります。頭に貼り付けたカードの名前を当てるゲームで大いに盛り上がり、ぐっと距離が縮まりました！



10:40～

熟議第1部開始

■テーマ「地元を盛り上げるアクションプランを考えよう」

AからJまでの10チームに分かれ、12名の中学生ファシリテーターが進行してくれました。地元を盛り上げるためにどんなことをしてみたいかを話し合い、プランを出して模造紙にまとめていきます。



12:00～12:45 昼食休憩

12:45 ～ 1部の発表



1部で出し合ったプランをまとめて発表しました。他のチームのプレゼンを聞いて、このあと、自分たちのチームのプランをさらに練り上げていきます。

10:40～

熟議第2部開始

■テーマ「アクションプランを練り上げよう」



「発表では、なぜそれを実践するのか、みんなの思いを聞きたい」という言葉を受けて、発表準備に向け、温度はMAXに！



■先生方の熟議

今後生徒がアクションを実践するためには、先生方の協力も不可欠です。当日ご参加いただいた先生方も、八王子中学校の上井校長先生のファシリテートで、熱の入った熟議を行っていただきました。



15:20～

アクションプランの発表

■ 2部で練り上げたアクションプランを発表しよう。

A班「チュー祭」



中学生主催の祭りをを行う。場所は久屋大通り。様々なコーナーを設けて、名古屋市の中学校合同イベントとして開催する。コンセプトは名古屋が抱える問題を祭りで中学生が一気に解決する。



B班「名古屋市サミットフェスティバル」



場所は公園。多様なジャンルのブースを設け、開催する。コンセプトは、やりたいこと、解決したいこと、全てを「楽しく」実行できる祭り。



C 班 「地域との交流」



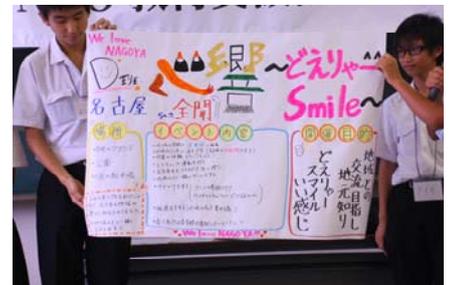
地域との交流で問題解決。地域のお祭りに参加したり、防災訓練に参加したり、ゴミ拾いに参加する。その提案を生徒会から全校、地域に発信する。



D 班 「心響〜どえりゃーSmile」



地域との交流を目指し、地元を知る。公園や学校のグラウンドでイベントを行う。地域の人たちと作り上げる。「心響」のレタリグは名古屋市を表現。



E 班 「LINK FESTIVAL」



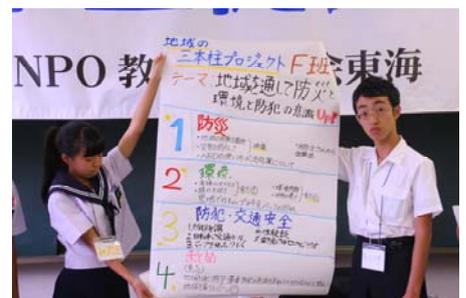
地域の結びつきを強くしたいという目的で祭りを開催する。特産物の試食コーナーを設けたり、歌も作成したりして、特に若い世代にアピールしたい。



F 班 「三本柱プロジェクト」



地域の三本柱運動を行う。防災・環境・防犯で、マップ作りや牛乳パック回収、交通事故などの体験談を聞いたりする。コンセプトはより具体的な活動を。



G 班「未来発展講座 地域清掃・防災」



防災訓練を一つの町で、大規模に行う。また、全学年、地域を巻き込んで清掃活動を行う、一見地味な活動だが、一斉に清掃活動をすることは、実行可能で、生徒会サミットの意義でもある。



H 班「Keep Problem Try」



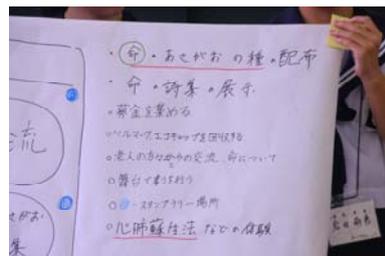
美化活動に焦点をあてて、今までの、継続・問題から、TRY！=新しくやることを目指す。そして一つひとつ問題を pick up し、実行する。



I 班「命に関するイベント」



命を考える機会を作る。命のアサガオ、命の詩集、老人ホーム訪問（花束・かるた）また、心肺蘇生法についても学ぶ。そういったイベントを体育館にて行い、人を巻き込んでいく。



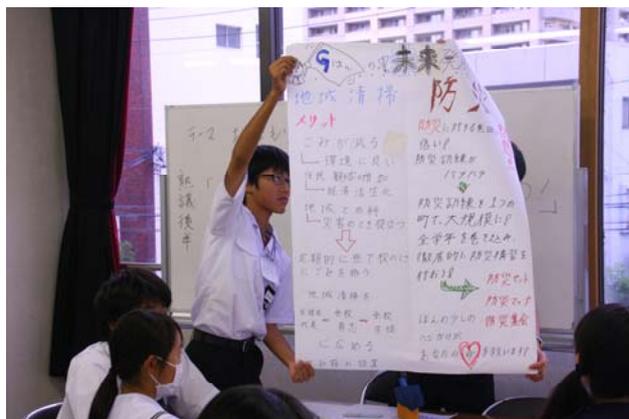
J 班「フェスティバル JHS」



CAP でエコアート。名古屋出身のアーティストを招く。名物コーナー。アンケートスペースを儲ける。目いっぱい楽しんでもらい、名古屋を盛り上げる。



■以上10チームの発表から、皆で協働して行うアクションプランを、全参加生徒の投票により、G班の「未来発展講座 地域清掃・防災」に決定しました！



16:50 ~

エンディングセレモニー

■講評

京都造形芸術大学教授 寺脇研氏

NPO 教育支援協会東海



「時代が変われば人の価値観も変わる。君たちは歴史上初めてとなる超少子高齢化社会を生きていく。そのときにどういう社会にしたいかを君たち自身が考え、より良い社会を築いてほしい。」と、自分の頭で考えることの大切さを教えていただき、未来に向けて、エールをいただきました。

名古屋市 市議会議員 議長 藤沢ただまさ氏



「若い中学生の皆さんがこんなにも地元名古屋のことを真剣に熟議してくれて感動しました。我々大人たちが考えもしないようなユニークな意見も飛び出し、皆さんのような若い人たちがいることは名古屋の将来の希望であります。これからの実践に向けて、名古屋市議会としても応援します！」とエールをいただきました。

■事後アンケート

■集合写真

■17時20分 終了

参加生徒の感想（一部抜粋）

■志段味中学校 3年 I・Aさん

今日をすごく楽しみにしていました。最初の頃は初めてのメンバーで、知らない人ばかりで不安でしたが、時間が経つにつれて自分の意見を言って、ひとつの模造紙を作り上げられるようになりました。このように“名古屋”について考えること、問題点を出したり解決策を練ることで、改めて名古屋を知ることができました。また、G班の案を参考に私の中学校でも実践したいと思いました。

■東星中学校 3年 A・N君

今日の活動をして正直驚きました。名古屋市内の学校の生徒会というだけで、これだけ意識の高い人たちが集まるなんて思いもしませんでした。志が高く、自分の意見をしっかりと持ち、それを皆に伝えるという正に未来のリーダーに相応しい人たちです。僕もその一人になれるよう、日々精進したいと思います。

■高針台中学校 2年 K・Eさん

今回生徒会サミットを終えて感じたこと、学んだことなど合わせて3つあります。1つ目は、他の学校の人と一緒に意見を出し合うことで自分には考えつかない沢山の意見があって、とても楽しかったということです。また、他の班の発表も聞いて沢山のことを学ぶことができ良かったです。2つ目は、名古屋のことについて、自分たちで考えることができたことです。私達にとって、名古屋はとても大きく遠い存在だったけれど、今回話し合うことによって、距離も縮まり、少しでも貢献することができたと思っています。とっても良い経験になりました。

■守山中学校 3年 N・T君

僕は昨年度の生徒会サミットに出席して、名古屋全体で行う行事の内容の濃さがすごいなあと思いました。一度にたくさんの方が集まって出された意見を全て肯定で考える、本当に素晴らしいサミットです。今回僕はファシリテーターという立場で出席しました。僕が2014年のサミットで見た大学生のファシリテーターのみなさんは、僕たち戸惑う中学生を導き、一人ひとりの意見を大切に、仲良く、全員が友達のようになって熟議するのを手助けしてかっこいいなと思いました。生徒会サミットで出されたアクションプランは実行するところまでが目的です。僕が生徒会執行部として活動を行えるのは残り1ヶ月を切りましたが、今回熟議の方針を決め、班を導き、発表をして、他の班の発表を聞いたこの経験は、僕たちにとって一生のものです。

2015年(平成27年)9月20日(日曜日)

地域貢献へ生徒会が提案

市内17中学の役員らサミット

名古屋市立中学の生徒会長らが一堂に会し、地域貢献へのアイデアを話し合うNPO教育支援協会東海の「市生徒会サミット2015」が十九日、中区大井町のイーブルなごやで開かれた。

革新的なアイデアを生み出せるリーダーを育成しようと、二〇一三年から開催し、今回で三回目。市内の十七中学校の生徒会役員ら七十二人が「生徒会として行える地域貢献」をテーマに班に分かれて議論を深めた。

上社中二年の小出淳君(八)＝名東区＝の班は、中学生による地域の祭り「チュー祭」の主権を提案。久屋大通公園を会場に、みそ煮込みや手羽先などの名古屋名物を販売するブースを設けるほか、会場で交通事故防止や環境問題について啓発する案を披露した。(奥村圭吾)

生徒会として行える地域貢献について発表する生徒ら＝中区大井町のイーブルなごやで



名古屋市生徒会サミット 2015 を終えて

NPO 教育支援協会東海

専務理事 西尾 真由美

先ずもって、この度の生徒会サミットを開催するにあたり、ご支援並びにご協力をいただきました、名古屋市教育委員会様、名古屋市立小中学校長会様、地元企業協働パートナーの皆様、そして、ご参加いただきました各中学校様に厚くお礼申し上げます。

名古屋市生徒会サミットも今回で3回目の開催となりました。ふるさとを大切に思い、ふるさとのために貢献する、そのためには「自分は独りではない」という「絆」を胸に行動できる「日本の未来を担う青少年」を育成すべく、このサミットを末永く継続する所存です。

また、実践に向けて、ご担当の先生方にもお願いしましたように、実践活動の日程や内容など、お知らせいただきますようお願い申し上げます。弊協会もできる限りの応援をさせていただきたいと思っております。

どうぞ今後とも、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

【成果】

- ・名古屋市の中学校生徒会 16 校 70 名が一堂に集い、地域貢献を大テーマとして行ったサミットは、大きな事故もなく無事終わることができた。会場は名古屋市教育委員会のご協力により、イーブルなごやで開催することができた。交通の便、会場の動線もスムーズであったと思う。
- ・会を進行するファシリテーターは、昨年度の参加者から、12名の中学生が希望してくれて、前日にはファシリテーター研修会も行い、グループでの話し合いを熱心に進行してくれた。弊協会が目標にしている次世代のリーダー育成に繋がり、継続していくことの意義にも繋がる一歩になったのではないかと思う。また、卒業してからも参加したいと希望してくれた生徒も数名いた。名古屋市生徒会サミット実行委員会設立に向けて今後の検討事項としたい。
- ・参加した生徒からの事後の感想では、ほとんどの生徒が「参加して良かった」との言葉が記載されており、一定の満足感を提供できたのではないかと思う。

【今後の課題】

- ・昨年度は、受験や年度末のあわただしい中であったことと、日曜日であったことから、参加生徒や特に引率の先生方には大変なご負担をおかけした。今年度は、学校行事と重ならないように時期を配慮したが、前期・後期の変わり目の時期であったとのこと。来年度の開催時期も検討の必要がある。
- ・昨年度は、発表の時間を短く制限したため、生徒たちも言いたいことを充分伝えきれなかったのではないかと考え、今年度は特別時間の制限を設けなかった。発表は大変充実しており、生徒もやりきった感があったが、終了時間が予定を大幅に超えてしまい、多くのおみなさんにご迷惑をおかけした。来年度は、より充実したサミットにするために、開催日数も検討したいと考えている。
- ・事前の連絡に不備があり、いくつかの学校様、生徒さんにご迷惑をおかけした。来年度は連絡の方法も検討する。